

平成21年6月期 第3四半期決算短信

平成21年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ゼロ

コード番号 9028 URL <http://www.zero-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩下世志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 北村竹朗

TEL 044-520-0106

四半期報告書提出予定日 平成21年5月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年6月期第3四半期の連結業績(平成20年7月1日～平成21年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年6月期第3四半期	39,383	—	△280	—	△232	—	△307	—
20年6月期第3四半期	41,651	2.8	902	85.7	990	67.4	534	99.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年6月期第3四半期	△17.84	—
20年6月期第3四半期	31.01	30.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年6月期第3四半期	32,738	11,779	35.8	686.23
20年6月期	27,667	12,243	44.0	706.21

(参考) 自己資本 21年6月期第3四半期 11,729百万円 20年6月期 12,172百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年6月期	—	4.00	—	5.10	9.10
21年6月期	—	0.00	—	—	—
21年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成21年6月期の期末配当予想につきましては、平成21年2月12日の「業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」にてご案内致しましたとおり、未定とさせていただいておりますが、当社グループの通期業績が固まった時点で、お知らせすることを予定しております。

3. 平成21年6月期の連結業績予想(平成20年7月1日～平成21年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,900	△3.6	△480	—	△380	—	△410	—	△23.79

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 有

詳細は、4ページ「定性的情報・財務諸表等 4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年6月期第3四半期	17,560,242株	20年6月期	17,560,242株
② 期末自己株式数	21年6月期第3四半期	467,551株	20年6月期	324,049株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年6月期第3四半期	17,232,196株	20年6月期第3四半期	17,236,119株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、世界景気の低迷が続く企業収益が大幅に減少、設備投資は控えられ、雇用情勢も悪化、一層の景気低迷も懸念される状況で推移いたしました。

物流業界におきましては、燃料単価の高騰トレンドには一服感があるものの、景気低迷により物量が伸び悩む厳しい環境が続いております。特に、車両輸送業界が最も影響を受ける自動車市場では国内の新車販売が過去に例を見ない規模で減少(前年同期比85.5%・・・日本自動車工業会統計)し、輸出はそれ以上の冷え込み(前年同期比74.4%・・・日本自動車工業会統計)となっており、新車の輸送量が大きく落ち込みました。さらには、これまで中古車市場を牽引してきた輸出事業者が円高のあおりを受けて積極的な売買を控えており、輸送につながる中古車の販売台数も減少しております(前年同期比95.7%・・・日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会統計)。

当社の主要取引先である日産自動車も落ち込んでおり、国内販売(前年同期比81.5% 日本自動車工業会統計)輸出(前年同期比72.4% 日本自動車工業会統計)ともに減少した影響や中古車の輸送も振るわなかったことにより、当社グループが国内を輸送する台数全体で前年同期比84.0%と落ち込む結果となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は393億83百万円、営業損失は2億80百万円、経常損失は2億32百万円、四半期純損失は3億7百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 車両輸送関連セグメント

車両輸送事業におきましては、日産自動車の平成20年7月～平成21年3月における国内販売台数が前年同期の570千台から464千台と、100千台超減少しました(日本自動車工業会統計)。また同社の輸出車につきましても前年同期の605千台から160千台超減少し438千台(日本自動車工業会統計)となるなど当社グループにおける輸送受託台数全体が大きく落ち込む要因となりました。車両整備事業におきましても同様に、日産自動車や輸入車インポーター向けの新車整備の受託台数が減少いたしました。これらの要因により、売上高は338億40百万円となりました。

利益面につきましては、この売上減による限界利益減と、荷量減少による輸送効率悪化により輸送の収益率が低下いたしました。これらの要因により、営業利益は7億4百万円となりました。

② カーセレクションセグメント

カーセレクション事業におきましては、自動車の国内需要の低迷や円高の進行により中古車輸出事業者の落札台数が減少しており、売上高は6億21百万円となり、営業利益は1億55百万円となりました。

③ 一般貨物輸送セグメント

一般貨物輸送事業におきましては、平成20年6月に三郷商品センター(埼玉県)、北関東商品センター(群馬県)を、同7月には川崎商品センター(神奈川県)を新たに設置して業容を拡大したため売上高は拡大しましたが、これら新規立上げ商品センターの先行費用が膨らみました。これらの要因により、売上高は49億21百万円、営業利益は24百万円となりました。

当社グループでは、市況の急激な変化と厳しい環境に対応すると同時にこれを契機に構造改革を大胆に進めるため、人員や輸送機材、車両置場といった固定費の削減と無駄の無い筋肉質なオペレーションへのシフトに着手しております。また新しい事業の柱と考えている一般貨物輸送事業において不採算となっている事業も一旦見直しを行います。さらに営業体制を大幅に拡充強化しシェア拡大の取り組みを推進中です。

これらにより一日も早い収益挽回に努め、中長期的な成長を確かなものにする企業体質への変革を目指しておりますので、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ11.5%減少し、125億33百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が2億88百万円増加したものの、現金及び預金が9億79百万円、有価証券が7億98百万円それぞれ減少したことによりです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ49.5%増加し、202億4百万円となりました。

これは主に、システム開発費(ソフトウェア)の償却等により無形固定資産その他が2億20百万円減少したものの、川崎複合物流センターの建設に着手したことにより建設仮勘定が22億22百万円、ドライバースタッフ株式取得等によりのれんが31億80百万円それぞれ増加したことによりです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ18.3%増加し、327億38百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ16.7%増加し、97億62百万円となりました。

これは主に、未払法人税等が2億65百万円、支払手形及び買掛金が1億86百万円減少したものの、短期借入金
が2億54百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億43百万円、川崎複合物流センター中間時工事代金の未払金
等により流動負債その他が16億83百万円それぞれ増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ58.7%増加し、111億96百万円となりました。

これは主に、退職給付引当金が2億95百万円減少したものの、ドライバースタッフ株式取得資金及び川崎複合
物流センター建設資金の借入等により長期借入金が38億24百万円、リース債務の計上により固定負債その他が5
億79百万円それぞれ増加したことによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べ35.9%増加し、209億58百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ3.8%減少し、117億79百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が3億95百万円減少したことによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間までの業績は、概ね平成21年2月12日に公表いたしました通期の業績予想に沿った内容
となっており、変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・「四半期財務諸表に関する会計基準」の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に
関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務
諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・「たな卸資産に関する会計基準」の適用

たな卸資産については、従来、最終仕入原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産
に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、最終仕入原価法に
よる原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

・「リース取引に関する会計基準」の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっ
ておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議
会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適
用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正）が平成
20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったこ
とに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっ
ております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却方法については、リ
ース期間を耐用年数とし、残存価額を零（残価保証の取決めがある場合は、残価保証額）とする定額法を採用
しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の
賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,226	5,205
受取手形及び売掛金	6,660	6,372
有価証券	198	996
貯蔵品	136	180
繰延税金資産	237	204
その他	1,123	1,236
貸倒引当金	△48	△41
流動資産合計	12,533	14,154
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	925	805
機械装置及び運搬具（純額）	306	193
工具、器具及び備品（純額）	82	78
土地	8,757	8,664
リース資産（純額）	574	—
建設仮勘定	2,222	—
有形固定資産合計	12,868	9,741
無形固定資産		
のれん	3,266	85
その他	703	924
無形固定資産合計	3,969	1,009
投資その他の資産		
投資有価証券	442	359
長期貸付金	269	86
繰延税金資産	1,827	1,539
その他	956	858
貸倒引当金	△129	△83
投資その他の資産合計	3,366	2,762
固定資産合計	20,204	13,513
資産合計	32,738	27,667

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,489	3,676
短期借入金	688	433
1年内返済予定の長期借入金	1,475	1,331
未払法人税等	197	463
未払消費税等	113	190
賞与引当金	226	384
その他	3,571	1,887
流動負債合計	9,762	8,367
固定負債		
長期借入金	5,273	1,448
退職給付引当金	3,723	4,019
役員退職慰労引当金	253	221
繰延税金負債	86	86
再評価に係る繰延税金負債	1,279	1,279
その他	579	0
固定負債合計	11,196	7,056
負債合計	20,958	15,424
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,390	3,390
資本剰余金	3,204	3,204
利益剰余金	6,197	6,593
自己株式	△152	△132
株主資本合計	12,640	13,056
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5	20
土地再評価差額金	△904	△904
評価・換算差額等合計	△910	△884
少数株主持分	49	71
純資産合計	11,779	12,243
負債純資産合計	32,738	27,667

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成21年3月31日)
売上高	39,383
売上原価	35,658
売上総利益	3,724
販売費及び一般管理費	4,005
営業損失(△)	△280
営業外収益	
受取利息	16
受取配当金	0
受取手数料	62
その他	90
営業外収益合計	170
営業外費用	
支払利息	82
その他	39
営業外費用合計	121
経常損失(△)	△232
特別利益	
固定資産売却益	19
特別利益合計	19
特別損失	
固定資産売却損	15
固定資産除却損	35
投資有価証券評価損	8
下請代金返還金	29
特別損失合計	89
税金等調整前四半期純損失(△)	△302
法人税等	26
少数株主損失(△)	△21
四半期純損失(△)	△307

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)	
売上高	13,616
売上原価	12,129
売上総利益	1,487
販売費及び一般管理費	1,455
営業利益	32
営業外収益	
受取利息	5
受取配当金	0
受取手数料	18
たな卸資産売却益	44
その他	16
営業外収益合計	84
営業外費用	
支払利息	49
その他	4
営業外費用合計	53
経常利益	63
特別利益	
固定資産売却益	16
特別利益合計	16
特別損失	
固定資産売却損	15
固定資産除却損	0
投資有価証券評価損	0
下請代金返還金	29
特別損失合計	45
税金等調整前四半期純利益	34
法人税等	103
少数株主損失(△)	△16
四半期純損失(△)	△52

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年7月1日
至 平成21年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△302
減価償却費	548
のれん償却額	109
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	47
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△184
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△299
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	29
受取利息及び受取配当金	△16
支払利息	82
投資有価証券評価損益 (△は益)	8
固定資産除売却損益 (△は益)	31
売上債権の増減額 (△は増加)	264
たな卸資産の増減額 (△は増加)	47
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	143
仕入債務の増減額 (△は減少)	△219
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	14
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△180
その他	26
小計	152
利息及び配当金の受取額	16
利息の支払額	△79
法人税等の支払額	△709
営業活動によるキャッシュ・フロー	△620
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△18
定期預金の払戻による収入	49
有価証券の取得による支出	△198
有形固定資産の取得による支出	△1,486
有形固定資産の売却による収入	54
無形固定資産の取得による支出	△51
投資有価証券の取得による支出	△0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,097
貸付けによる支出	△310
貸付金の回収による収入	172
その他	△57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,944

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年7月1日
至 平成21年3月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	2,861
短期借入金の返済による支出	△2,606
長期借入れによる収入	3,500
長期借入金の返済による支出	△988
リース債務の返済による支出	△37
自己株式の取得による支出	△20
自己株式の売却による収入	0
配当金の支払額	△87
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,619
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,945
現金及び現金同等物の期首残高	5,923
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,978

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(平成20年7月1日～平成21年3月31日)

	車両輸送関連 事業(百万 円)	カーセレクト ション事業(百 万円)	一般貨物輸送 事業(百万 円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結(百万 円)
売上高	33,840	621	4,921	39,383	—	39,383
営業費用	33,135	466	4,897	38,499	1,164	39,664
営業利益	704	155	24	884	△1,164	△280

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(平成20年7月1日～平成21年3月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な海外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(平成20年7月1日～平成21年3月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年7月1日～平成20年3月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年6月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	41,651
II 売上原価	37,226
売上総利益	4,424
III 販売費及び一般管理費	3,522
営業利益	902
IV 営業外収益	159
V 営業外費用	71
経常利益	990
VI 特別利益	80
VII 特別損失	7
税金等調整前四半期 純利益	1,063
税金費用	549
少数株主損失	△21
四半期純利益	534

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年7月1日～平成20年3月31日)

	前年同四半期 (平成20年6月期 第3四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動による キャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,063
減価償却費	487
のれん償却費	25
貸倒引当金の増減額	18
賞与引当金の増減額	118
退職給付引当金の増減額	△619
役員退職慰労引当金の増減額	27
受取利息及び受取配当金	△23
支払利息	53
固定資産除売却損益	△72
売上債権の増減額	△1,287
たな卸資産の増減額	△5
その他流動資産の増減額	△685
仕入債務の増減額	881
その他流動負債の増減額	487
未払消費税等の増減額	54
その他	△0
小計	521
利息及び配当金の受領額	17
利息の支払額	△50
法人税等の支払額	△309
営業活動による キャッシュ・フロー	179

	前年同四半期 (平成20年6月期 第3四半期)
区分	金額 (百万円)
II 投資活動による キャッシュ・フロー	
定期預金の預入支出	△28
有価証券の取得による支出	△1,795
有価証券の償還による収入	2,600
有形固定資産の取得による支出	△77
有形固定資産の売却による収入	351
無形固定資産の取得による支出	△20
投資有価証券の取得による支出	△0
貸付による支出	△148
貸付金回収による収入	48
その他	△145
投資活動による キャッシュ・フロー	783
III 財務活動による キャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,525
短期借入金の返済による支出	△1,187
長期借入れによる収入	120
長期借入金の返済による支出	△969
少数株主への株式発行による収入	74
自己株式の売却による収入	0
配当金の支払額	△135
財務活動による キャッシュ・フロー	△573
IV 現金及び現金同等物の増加額	389
V 現金及び現金同等物の期首残高	4,971
VI 現金及び現金同等物の期末残高	5,361

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(平成19年7月1日～平成20年3月31日)

	車両輸送関連 事業 (百万円)	カーセレクシ ョン事業 (百万円)	一般貨物輸送 事業 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	36,495	644	4,511	41,651	—	41,651
営業費用	34,691	471	4,455	39,618	1,130	40,748
営業利益	1,804	172	56	2,033	△1,130	902